

過去5年間のベンチャー提案一覧

年度	番号	研究テーマ
26年度	1	山城発ご当地キャラ軍団「京キャラ」を活用した京都府内各地の魅力発信
	2	“教育体験旅行”の推進に関する提案 ～農村に広がる笑顔の輪～
	3	丹後地域の既存資源を活用した地域振興に関する政策提案
	4	海外における留学生招致ネットワークの構築について
	5	元議会公舎(旧富岡鉄斎邸)の利活用について ～文化財的価値のある未利用資産の利活用の新たな取組み～
	6	人口増加に向けたワークライフバランスの実現
	7	地域活動団体を支援する中間支援の再構築『コネクト京都』 ～未来へのチカラとなる場～
	8	若者のエコソリューションズの推進 ～自然が放つ「光」を「観」にゆこう～
	9	京都若者未来研究所(京都若者ライフデザインLab.)
	10	日本一のユニバーサルなおもてなし「あったか京都」を目指して ～京のユニバーサルおもてなし大賞創設～
	11	エビデンスに基づく自殺対策の立案 ～科学的根拠に基づく政策決定プロセスのために～
	12	京都発！！福祉人材確保 プロジェクト新たなソフトパワー創出！
	13	障害のある方の一般就労への移行を進めるためのシステム作り ～地域で障害のある方がはたらく社会を目指して～
	14	近未来の京都健康長寿・テーマパーク型健康づくり ～そこに住むことにより楽しみながら健康になれる地域づくりの研究～
	15	京都府から胃がんを撲滅するための取組について ～長期的視点を主とした胃がん予防の研究～
	16	成長戦略!! “きょう発 くすり安心ブランド開発プロジェクト” ～国民の「健康寿命」延伸のために～
	17	木質バイオマスを活用した地域熱供給ビジネスモデルの構築
	18	舞鶴トラム計画 ～地方都市の生き残りをかけて～
	19	サイバー空間の安全と安心の確保 ～日本一サイバー空間の脅威に強い街京都の実現～
	20	新たな認知症の総合センター機能の構築について
27年度	1	世界の京都AYUを目指して！
	2	「森林情報管理・活用サポートセンター」で京都府の山を動かせ！
	3	「新規参入」による地域農業・過疎農村の活性化
	4	「最高品質を届けたい！」「飲みたいお茶が一目でわかる！」 ～「プレミアム宇治茶認定制度」と「お茶の味表現チャート」の提案～
	5	重複障害者の能力を適切に見立て、適切に支援するために ～「障害研究・実践サポートセンター(仮称)」を基盤にした新しい支援システムの提案～
	6	「京都みんなの福祉コミュニティづくり」 ～みんなが輝ける京都を目指して～
	7	高齢者の交通事故防止対策の将来Vision ～安価で効果的な反射材を普及するための安全で安心できる安全教育・安全情報発信の在り方～
	8	聞き書きを活かした「古くて新しい」京都づくりの提案
	9	インテレクチュアルコモンズがひらく公共図書館等文化施設の未来 ～府立図書館がパラダイムシフトする時～

年度	番号	研究テーマ
27年度	10	地域資源を活かした少子化対策
	11	復活！元伊勢内宮と石畳古道 ～地域寄添型ベンチャー事業～
	12	地域再生に向けた北部地域への攻めの企業誘致
	13	使わな損！？ 得するICカードの活用術 ～公共交通機関の未来のために～
	14	さんばい3Rのさらなる促進のための“はじめの一步”支援事業 ～産業廃棄物税制度の新たな使途事業の提案～
	15	みやこ自然ミュージアム構想 ～京都の自然は京都が守る 自然環境保全活動の拠点づくり～
	16	国定公園総合管理システムの立案 ～府民にとって有意義な管理基盤を目指して～
	17	京都インフラメンテナンス機構 ～公共施設の維持管理高度化に向けて～
	18	COCOROきがえアクション ～服装を着替えて心を着替える～
	19	マルチハザードに対応するための消防団を中心とした共助組織の検討
28年度	1	産学官連携体制の構築による京都府の災害対処能力の向上
	2	世界一安心・安全のまち京都を目指した科学捜査力の強化 ～科捜研とサイエンスコミュニケーション～
	3	産・官・学連携による犯罪・交通事故等を想定したリスク回避トレーニングシステム(疑似体験ゲーム)の開発に向けた研究
	4	ぼくらNO！ドラッグプロジェクト ～若者への最も効果的なアプローチの提案～
	5	小児期発症の高次脳機能障害児の支援体制と教育機関との連携の構築
	6	若年性患者への京都式総合支援対策
	7	NICU(新生児特定集中治療室)からはじまる新たな連携ネットワーク
	8	～医療制度改革にどう向き合うべきか～ 医療制度改革成功の鍵「在宅療養のこれから」を考える
	9	健康福祉部発 京都府職員「1UP」事業 ～こうして、業務は改善する～
	10	農福連携キャリアパスの構築 ～障害者の就農促進で地域再生へ～
	11	京都丹波の教育振興及び地域振興 ～全国から来た子ども達を森の京都で育てる～
	12	国定公園の価値を高める利活用手法と広報戦略の検討について
	13	聴覚障害者への情報保障施策について(コミュニケーションツールの活用)
	14	公民連携による市町村水道支援
	15	Yozorano-Mukou プロジェクト ～向日町競輪場のパラダイムシフト～
	16	自治体間の連携について ～新たな形を目指して～
	17	府内各地域における縮小現象の量的分析に基づく政策提案
	18	学びの拠点づくり
	19	文化の継承・育成のための新たな取り組み ～地域を紡ぐアートマネージャーの配置～
	20	アーツコンソーシアム京都 ～文化首都京都の実現のために～

年度	番号	研究テーマ
28年度	21	大学を活用したアジアの人材育成拠点形成 ～大学、企業等と連携した京都発の人材育成システムの構築～
	22	「アート&クラフト」に関する 産業資源を活用した 堀川地域の活性化について ～堀川団地を核とする賑わいの創出～
	23	「京野菜」を「Kyo-Yasai」に！ ～輸出による農産物の販路拡大～
	24	京の花と果物で「おもてなし文化」増進大作戦！！
	25	グローバル化の中の京都府の肉用牛生産のあり方
	26	食品ロス削減のための施策について
	27	ブランド農家をプロデュース！ ～京のイチ推し農家、イチ推しコミュニティ～
29年度	1	公民連携(包括委託)による府北部の市町水道支援
	2	京都府における気候変動・影響モニタリング体制の検討
	3	”地域魅力再発見”環境教育プロジェクト
	4	主体的・対話的で深い学びを実現するICT利活用に関する提案 ～デジタルネイティブに向けた全府立中・高スマートスクール化計画～
	5	市町村の行財政運営モデルの提案について
	6	新たな税收等確保策について
	7	プロスポーツで地域活性化！ ～京都ハンナリーズの可能性を探る～
	8	「見る」スポーツから「する」スポーツへ ～ゴールデンスポーツイヤーズを契機としたスポーツによる地域創生～
	9	新たなアートが開拓する新しい公共性 ～わたしたちの芸術祭(It's Our Art Festival)に向けて～
	10	北山Art Street計画 ～文化芸術による街の活性化および周遊性の向上を目指して～
	11	変革期の大学運営のあり方と職員の人材育成について
	12	インフラアセットマネジメント(Kyoto Model) の実践に向けて
	13	私たちの問題は府民全体の問題 ～テクノロジー活用と睡眠改善による生産性向上プラン～ ～入院医療中心から地域生活中心へ～
	14	精神障害者の地域生活を支える新たな家族支援
	15	3つの京都+♡プロジェクト ～障害者の授産製品販路拡大に向けて～
	16	子育て世帯を支援する新たなライフスタイルを提案！ ～京都版コレクティブハウス開設事業～
	17	もうひとつの京都に続け！「竹の里・京都乙訓」
	18	ICT等を活用した農業生産減災対策
	19	目指せオリ・パラ！五色の豆を京都丹波から世界へ！！
	20	ムスリムの食の安心・安全の確保について ～ムスリムに京都を満喫していただくには～
	21	レンタサイクルを活用したガイドツアービジネスモデルの確立 ～お茶の京都 E-Bike Tourism～
	22	舟屋の空き家活用による観光地域づくりと雇用確保対策
	23	オープンファクトリーを活用した官民連携による支援者獲得の新構想

年度	番号	研究テーマ
29年度	24	まゆまるロボット計画 ～ロボットのためのバリアフリー～
	25	指定管理者制度のインセンティブの見直しについて ～公園管理を中心にインセンティブのあり方を検討する～
	26	府庁働き方改革CFT(クロス・ファンクショナル・チーム)の制度化 ～府庁働き方vision2030の実現を目指して～
	27	ドローンによるBird's Eye ～空の京都の可能性～
30年度	1	児童虐待対応現場におけるAI活用／高度専門職人材育成の推進
	2	職場PR動画作成プロジェクト ～優秀な土木技術職員の獲得を目指して～
	3	3次元データの利活用システムについて
	4	高齢運転者の運転特性と交通事故防止対策
	5	“消費者視点”での再配達防止・削減に向けた取組
	6	水道事業を次の世代へ受け継ぐための人材育成・技術継承の提案
	7	ロケ誘致で地域が元気になる！ ～京都丹波地域をモデルにしたローカルエリアブランディング～
	8	「SDGs(持続可能な開発目標)先進地・京都府」を目指して！ ～「企業SDGsの都」となることから始めよう～
	9	オープンイノベーション時代における未来志向型クロスファンクショナル組織の導入 ～京都府庁働き方改革CFTの取組をモデルケースに～
	10	イキイキと働くことができる“職場環境”の研究
	11	地方公共団体におけるRPA(ロボットによる業務自動化)の活用について